

農研センターにおける幸水の収穫始は、平年並の8月17日になると予測されます。

表1 農研センターにおける主要3品種の予測値

品種		収穫始			収穫盛			(参考) 満開日
		本年	平年差	昨年差	本年	平年差	昨年差	
幸	水	8/17	0日	3日	8/27	-1日	2日	4/20
豊	水	9/3	0日	1日	9/15	0日	0日	4/18
にっこり		10/10	2日	7日	10/24	3日	4日	4/15

※平年差、昨年差が－は早まることを、＋は遅れることを示す

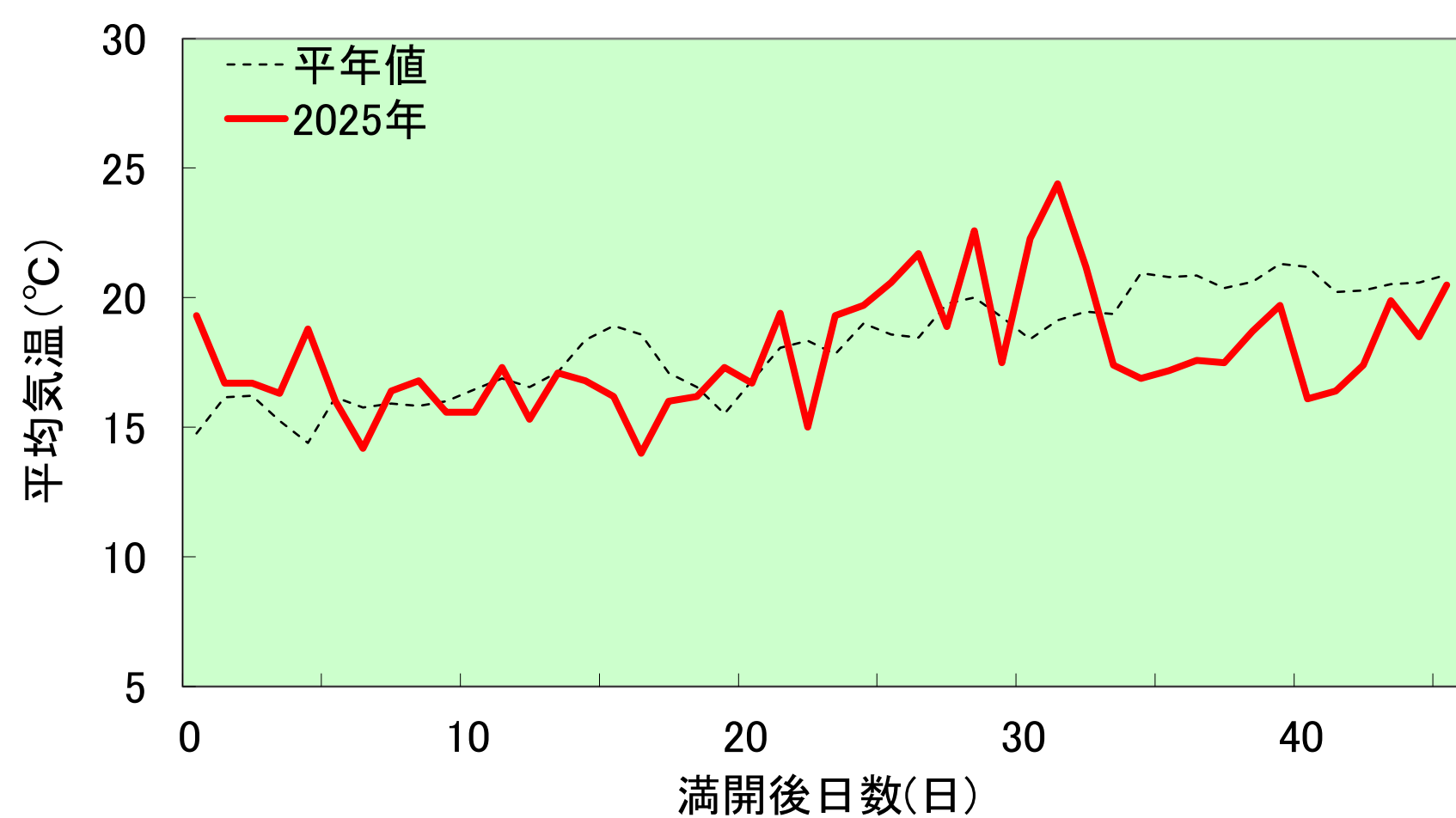


図 幸水満開日以降の日平均気温の推移(農研センター:宇都宮アメダス)

※平年値は直近10年(2015～2024年)の平均値

表2 県内各地における幸水の予測値

地点	収穫始			収穫盛			(参考) 満開日
	本年	平年差	昨年差	本年	平年差	昨年差	
大田原市	8/17	2日	7日	8/26	3日	8日	4/22
高根沢町	8/15	3日	7日	8/21	2日	0日	4/19
那須烏山市	8/14	0日	5日	8/21	1日	2日	4/20
宇都宮市	8/15	4日	7日	8/23	4日	3日	4/21
鹿沼市	8/14	-1日	6日	8/23	-1日	4日	4/19
芳賀町	8/16	4日	9日	8/24	2日	8日	4/21
栃木市	8/12	4日	10日	8/20	4日	2日	4/18
佐野市	8/8	2日	5日	8/17	1日	6日	4/15
小山市	8/8	4日	10日	8/16	4日	9日	4/16
平均値	8/14	3日	8日	8/22	3日	5日	4/19

☆収穫期予測の結果☆

農研センターの満開日は、幸水が4/20、豊水が4/18、にっこりが4/15と、平年より2～3日遅れとなりました。

農研センターの収穫始は、幸水が8/17、豊水が9/3と平年並になると予測されます。その理由は、平年より開花は遅れましたが、満開後約1か月の平均気温が0.5℃高かったため、生育が進んだと考えられます。また、各地の収穫始は平均すると、幸水では平年と比べ3日遅く、昨年よりも8日遅くなると予測されます。

☆気温と成熟特性☆

5月20日気象庁発表による3か月予報では、今後3か月(6～8月)の平均気温は高くなる確率が60%です。

幸水では、気温が高く推移した場合でも、成熟日数にほとんど差はありませんが、着色が遅れるため注意が必要です。また、収穫1か月前からの気温が低く推移した場合は、果肉先熟型になります。

豊水では、7月の気温が低いと熟期が早まり、高いと熟期が遅れます。
今後の気象状況に十分注意してください。

第2報は、7月下旬に発表する予定です。

問合せ先: 栃木県農業総合研究センター 研究開発部 果樹研究室

Tel 028-665-7143